

# 庄原赤十字病院で産科再開へ

保健医療課医療予防係  
☎0824・73・1155

平成17年4月から医師不足により休止していた庄原赤十字病院の産科が、本年4月から13年ぶりに再開される見通しとなりました。

現在、広島県内では、5市6町において分娩できる医療機関がない状況ですが、いったん分娩できる環境がなくなった市・町での産科再開実現は県内初の快挙となります。

庄原赤十字病院の常勤の産婦人科医師が不在になった平成17年4月以降、同病院では非常勤の派遣医師による外来診療を行ってききましたが、昨年7月からは常勤の産婦人科医師1人が赴任し、これまでできなかつ

た手術や入院の対応を行えるようになっていました。

平成25年9月に、県周産期医療協議会において備北圏域（三次市・庄原市）の分娩取り扱い確保の方向性が出されて以降、市は広島県と連携して、広島大学、三次市、市立三次中央病院をはじめとする関係機関へ継続的な支援要請を行ってきました。

現段階では、4月からの庄原赤十字病院の産婦人科医師の体制や詳細な分娩の受け入れ時期などの予定については未定ですが、正式な内容が決まりましたら、改めて市民の皆さんにお知らせします。

産科再開の見通しとなったことに併せ、市では、今後の小児科診療所・病児病後児保育施設の開設など、安心して子どもを産み育てられる庄原市の実現に向けて、引き続き取り組みを進めていきます。

## 庄原市の産科医療を取り巻く主な経過

平成17年4月	庄原赤十字病院が産科を休止
平成20年4月	庄原赤十字病院の婦人科外来維持支援事業補助金開始
平成21年6月	「庄原市の地域医療を考える会」設立
平成25年9月	平成25年第1回広島県周産期医療協議会（備北圏域を第1優先とし、三次市と庄原市の両市における一体的な分娩体制を目指すことを確認）
平成28年度	産科医療再開準備経費補助金1700万円を活用し、婦人科の常勤化に向けた医療機器を整備（平成29年度当初予算では3600万円計上）
平成29年1月	「庄原市こども未来広場」関連予算が議決
平成29年7月	庄原赤十字病院婦人科の常勤医師確保
平成30年1月	平成30年4月から庄原赤十字病院が分娩取り扱いを再開できる見通しであることを発表

# 肺炎球菌の予防接種はお済みですか？

保健医療課医療予防係  
☎0824・73・1155



平成29年度に肺炎球菌の予防接種の助成が受けられる方は、下記の対象年齢に該当し、3月31日までにワクチンを接種する方です。

この期間を過ぎても予防接種を受けることはできませんが、接種料金は全額自己負担（おおむね8千円程度）となります。ご注意ください。

### 《対象者》

○平成29年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる方（右下の表に当てはまる方）

○60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓などの機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

※過去に肺炎球菌の予防接種を受けたことがある方は対象外です。

※誕生日を迎える前でも接種ができません。

### 《申請の注意点》

必ず事前に申請が必要です。申請は保健医療課または各支所地域振興室・市民生活室（西城支所はしあわせ館）で受け付けます。

### 持参するもの

・本人確認書類（健康保険証など）  
・印鑑

### 《接種料金》

○一般 3千円  
○市民税非課税世帯 1500円  
○生活保護世帯 0円

※印鑑と本人確認書類が必要です。生活保護世帯の方は、被保護者証明書を持参してください。